

飯豊連峰保全連絡会議 第3回会合  
議事録

日時：2009年6月20日（土） 13:30～15:00

場所：長井市民文化会館

■開会

事務局 佐藤

定刻となりまして、これより平成21年度飯豊連峰保全連絡会議第3回会合を開会いたします。まだお見えでない方が、幹事の船山清一さんと小荒井実さんがいらっしゃっておりませんが、お時間ですので、始めさせていただきたいと思います。それでは代表の平田大六さんより、挨拶をお願い致します。

■代表挨拶

代表 平田氏：

飯豊連峰保全連絡会代表をおおせつかっております、関川村山の会の平田大六と申します。今日は会員の皆様、ご多忙の中お集まりいただきまして、ありがとうございます。こういう天気の良い日であります、皆さん方も山に入りたい想いだと思います。私も今日は朝から村の登山の行事がありまして、登っていたのですが、途中で下りてきました。この会は、去年の2月23日発足いたしました。非常に原始性の高い飯豊連峰をみんなの力で保全しようというような、大変崇高な目的で皆さん方に賛同いただきまして、発足致しました。その後6月の23日に第1回会合をやらせていただきました。また8月29日～9月1日までは天狗ノ庭周辺の保全活動を会員の皆さん方に大変、また個人の皆さん方のお力も借りて進めてきた訳であります。その後、去年の末の12月17日に2回目の会合を開きまして、今日に至っております。第3回目の今日は、今後のことにつきまして、あるいは今までやってきたことにつきまして、色々と皆さん方のご意見をお聞きしながら交流を深めて参りたいと思っております。おかげさまで、団体の数も増えて参りました。当初35団体でありましたけれども、プラス2団体で37団体、会員の153人から200人を超えまして、205人にまで増えてまいりまして、それも大変喜ばしいことですので、今日は夕方の4時頃までとの日程で会場をお借りしてやることになっておりますので、何分よろしくお願い致します。

■出席者紹介

事務局 佐藤：

ありがとうございます。それでは議題に入ります前に、本日お集まりの皆さんから所属と氏名について一言ずつ発言をお願いしたいと思います。

(出席者から挨拶) ※別紙名簿参照

事務局 佐藤：

ありがとうございました。では議題に入らせていただきたいと思います。まず、本日の会合は公開としまして、後日発言内容等ホームページ、ニュースレター等で公表させていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。では座って議題の方を進めさせていただきますと思います。議事の進行を代表の方にお願ひしたいと思ひます。

## ■議題1

代表 平田氏：

それでは進行おおせつかりましたので、よろしくお願ひします。座らせていただきます。それでは議題の1につきまして、飯豊連峰保全連絡会の平成20年度の活動報告をお願ひ致します。

事務局 佐藤：

では、私の方より、平成20年度、昨年度の報告について進めさせていただきます。お手元の資料1番をご覧ください。飯豊連峰保全連絡会ニュースレター第3号でございます。第2回の会合等の概要を記させていただいております。昨年12月17日に飯豊町町民総合センターあ〜すにて、第2回会合を開催させていただきました。こちらでは天狗ノ庭の合同保全作業の報告等と各団体からの作業報告、情報交換をしていただきました。各団体からの概要報告はですね、私の方からさっと説明させていただきます。

最初に西会津山の会、6月に計画した祓川山荘～疣岩山間の歩道は、通行に支障はなかったため、補修は行わなかった。鏡山久良谷川登山口林道の落石部分は、西会津町役場と地元業者から資材提供を受け、9月に落石撤去と路肩の補強を6名で実施した。

喜多方市さんは、御沢飯豊山線への木製階段等については、7月に地元関係者に見てもらい詳細設計をした。階段工55段と70段の2工区、また6基の土留め工を計画。現在、未着手。年内に資材運搬し、3月までに完成を目指す。9月に峰秀水の水場利用者が上方通行者からの落石により怪我をした、との連絡を受け、現地に注意喚起の表示等を行った。来シーズンは水場上部の迂回路は閉鎖する。なお当ルートは水場道であり、地藏小屋方面の本道の刈り払いを実施する。避難小屋の管理運営について情報交換する場がほしいとのこと。

裏ページに行きまして、下越山岳会さんは、8月に北俣岳～御西小屋間の清掃登山を実施した。落石の危険性から徒歩、車両ともに閉鎖されている東赤谷林道が、平成21年7月1日より徒歩利用に限定して開放の予定、と新発田市担当者より聞いている。安全な通行に向けて、新発田市と協議したい。置賜森林管理署さんは、一般市民を対象とした森林ふれあい推進事業を石転び沢や温身平で実施した。グリーンサポートスタッフによる巡視やナ

ラ枯れ対策、埋設ゴミ対策などの保全管理事業を実施した。温身平の曲沢で、土砂流出を防ぐための流路工や谷止工などの治山事業を実施した。

新潟県環境企画課さんは門内岳の冬季出入口はしご付替えを9月に実施した。

環境省東北地方環境事務所からは、玄山道分岐の測量設計を実施した。設計の基本的な考え方や保全修復の方針、保全修復手法についての経過を報告した。H18～H19年度に実証試験を行った梶川峰上部、種蒔山分かれ、御西小屋付近、天狗ノ庭のモニタリングを実施した。発芽状況、侵食状況の推移について報告した。5基の登山者カウンターを設置した。登山者の利用動向など分析結果を報告した。

また、その他、次年度のスケジュールとして、【NPO 飯豊朝日を愛する会】からは来年度の活動日については、種子の結実状況や降雪を考慮すると今年の9月12～13日が第1案であること、場所については天狗ノ庭や梶川峰上部を検討している、との説明がありました。また、会ではナラ枯れによる登山道への落枝や倒木の危険性についても話題となり、事故が起きる前に関係者で情報交換し上手に事前調整を図ることが大事、と話し合われました。第2回会合には24団体63名の参加がございました。以上で議題1の平成20年度の活動報告について終わらせていただきたいと思います。

代表 平田氏：

ありがとうございました。なにかこれにつきまして、質問や補足ありましたらお願い致します。ないようでしたら、議題の2に入らせていただきます。実施計画の策定につきまして、よろしく申し上げます。

## ■議題2

事務局 佐藤：

引き続きまして、それでは、議題2に入ります。お手元の資料2番3番をご覧くださいと思います。今回この第3回会合をするにあたりまして、各団体の方から事前に今年度はこういうことをしますよ、という風に紙面で提出させてもらっておりまして、それをまとめたものが資料2と図面に落としたものが資料3でございます。では、今回計画をさせていただいております、各団体の方からこの計画表の部分については補足説明等しながら、今年の計画についてご発表してほしいなと思います。資料の上から順にお願いします。小国山岳会さん、よろしいでしょうか。

小国山岳会 井上氏

小国山岳会の井上です。資料の方には予定期間未定、予定箇所天狗ノ庭、緑化ネットの敷設というようなことで書かせていただいております。この天狗ノ庭についてはかなり数年に渡ってやっていただいておりますので、残っている部分、現在の残っている下の方の部分について緑化ネットを今と同じような形で敷設したいと考えております。一応現時

点におきまして、先日、梅花皮小屋に緑化ネット17枚を確保いたしました。それから梶川峰上部につきましては、最初の年にやった箇所なのですが、そこによる流水のコントロール、土嚢並びに緑化ネットを用いて合わせ技のような形でやっていきたいと考えております。これに必要な緑化ネットということで、胎内市さんの協力をいただきまして、緑化ネット10枚を門内小屋に確保いたしております。それ以外のものについては人力で積み上げたいと考えております。具体的な日にちにつきましては、先ほど話しもできましたけれども、一応現時点の段階では9月12日～13日土日に梶川尾根、9月19日～20日、この時にかなりの連休があるのですが、まだ最終決定ではございませんが、19日20日あたりに天狗ノ庭の保全事業ということで、行いたいと考えております。

あとそれから、ここには記載しておりませんが、丸森尾根上部がかなり流水による侵食が激しくなっておりまして、このあたりにつきましては土嚢を使った、朝日山地、朝日の方でもこれと同じく保全会議が作られた訳ですけども、その中で色々勉強させていただきまして、例えば日暮沢とか白滝とか、朝日鉱泉ナチュラルリストの家から登る登山道に、積極的に土嚢を使った非常に上手なやり方をやっていたので、それに類するようなことをやってみたいと思っております。私からは以上です。

事務局 佐藤：

ありがとうございました。では2番目小泉善哉さんの方から話がありますが、本日欠席されておりますので、私の方から読み上げさせていただきます。小泉善哉さんは内容としては①小国山岳会の登山道整備の為に緑化ネット等の資材の荷上げを行います。②個人山行時のゴミ拾いや下草刈りを実施します。とございました。それから続きまして3項目、福島県の自然保護協会の星一影さんから、予定箇所は①裏磐梯地区、また②飯豊の会津地区とありまして、内容は、①オオハンゴンソウの駆除②自然保護NGOの作業を実施しますとありました。また4項目の頼母木の小屋の管理人をされている高井宏和さんから頼母木小屋の草刈りの担当区域、大石山の地神山のどこかということで、管理人一人でもできることをなにかしたいと計画がございました。また5項目の小国の自然を守る会さんからは小国山岳会の企画に協力するとございました。それから6つめ、西会津山の会さんはいらっしゃっておりますので、補足等ございましたらよろしく願います。

西会津山の会 薄氏

それでは私の方から補足説明をさせていただきます。1回目は7月中旬に飯豊山の登山道、祓川～疣岩山間の雪害による崩れが2、3箇所見受けられますのでその補修作業を考えています。大きな被害ではありませんので、人力による作業を計画しています。あとは2番目の鏡山～久良谷川登山口林道でありますけれども、昨年行いましたその下流の沢のカーブの地点でちょっと崩れがありますので、大きな崩れにならないうちに補修作業を行いたいと計画しております。これは9月上旬に考えております。資材は（西会津）町に提供

いただいて、会員及び関係者で行いたいと考えております。

次の西会津町ですけれども、合わせて私の方からご説明申し上げます。祓川にかかる登山道の橋ですが、毎年7月・9月の大雨の時に流され、その都度掛け替えをしていた訳ですけれども、今回もう少ししっかりした橋を造ろうということで、去年役場と話しまして、役場にも予算をつけていただきました。ただし、きちっとした橋ではありませんで、あくまでも簡易橋をかける考えであります。場所は資料には、今つけているところよりも10mほど上流とここには書いておりますけれども、今の橋と同じ所になるかと思えます。10mほど上になりますと橋そのものが高くなりますし、傾斜のある橋になってしまいまして、今ある橋の近くの方が余裕があると思っております。H鋼を2本渡しまして、その間に板を挟みこむような形の橋をイメージしていただければと思います。そんな風にして考えております。なお、橋につきましては裏磐梯自然保護官の山本さんに色々お世話になって手続き等やらせていただいております。許認可おり次第着工したいと役場の方でも考えているようであります。以上です。

事務局 佐藤：

はい、ありがとうございます。続きまして岩渕利雄さんの計画がございますが、この場にいらっしゃいます山都総合支所さんのものと共通しておりますので、後ほど山都総合支所さんからお願ひしたいと思っております。飛ばしまして、下越山岳会、よろしくお願ひ致します。

下越山岳会 藤井氏：

下越山岳会の藤井です。先ほど、20年度の計画の中で、おういんの尾根7月開口とのお話でしたけれども、都合上市の方に聞きましたら間に合わないということで、先ほどの報告にもありましたとおり、10月以降の開口ということで決まったそうで、私共は開口外の登山道の安全巡視とか、看板設置等確認等を今後実施していく予定です。実施計画の中にありますとおり、湯ノ平温泉、北股、御西岳間の8月1日～2日までの巡視を兼ねてゴミ清掃登山の実施をしたいと考えております。以上です。

事務局 佐藤：

はい、ありがとうございます。続いて、エーデルワイス山岳会の計画がありますが、小荒井さんがご欠席、まだ見えられておりませんので、私から説明します。7月の4日～5日にかけて、切合小屋周辺のゴミの収集回収を行いますとございました。続きまして、また新発田市観光振興課からは、今下越山岳会の藤井さんからお話があったように、10月以降に赤谷林道が通行可能になるとお話ありました。それから、川口志枝子さんからは個人の山行時にゴミ拾いをされるというような計画がございました。では、喜多方市、山都総合支所からよろしくお願ひ致します。

喜多方市山都総合支所 大関氏：

山都総合支所の大関と申します。今年3月に飯豊連峰環境問題連絡会ということで、喜多方市内、西会津町さん関係の山岳会の方々にご協力いただきまして、飯豊連峰に関する様々な問題解決するための、連絡会を設置しました。それで、この連絡会の呼びかけということで、各山岳会の方々にご協力を呼びかけまして、7月4日～5日、1泊2日で登山道ならびに切合周辺のゴミの撤去をやる予定であります。なお、参加人数等につきましては、今月29日まで各山岳会さんから報告いただくことになっておりますので、総勢何名になりますかは決定しておりません。また切合小屋独自で小屋周辺の環境整備も、高校生が夏休みになってから、高校生等の協力を得ながら、独自に各整備を行いたいという計画もあるようでございます。次に飯豊本山避難小屋でありますけれども、現在風力発電、太陽光発電をやっている訳でありますけれども、落雷が多いということで、避雷針の設備工事を行う予定になっております。また、途中の各登山道の要所に標柱等の設置工事も今年度予定しております。以上です。

事務局 佐藤：

ありがとうございました。では裏面に行きまして、新潟県山岳協会さんから、本間さん、なにかございますか？

新潟県山岳協会 本間氏：

山岳協会としては、特に取り組みはしておりませんが、玄山道分岐の補修ということで、関係団体に呼びかけて参加していきたいと考えております。

事務局 佐藤：

ありがとうございました。続きまして、環境省東北地方環境事務所、玄山道分岐のご説明をお願い致します。

東北地方環境事務所 内木：

東北地方環境事務所の内木です。よろしく申し上げます。今年東北地方環境事務所では、昨年度玄山道分岐で保全修復の測量と設計をいたしまして、その設計に基づく保全修復の工事を予定しております。今回配付資料で最後に説明の資料をつけておりますので、そちらで説明をさせていただきます。まず工事の場所なのですが、玄山道分岐標柱附近から駒形山の方に向かう、資料の方で2工区となっているところですね。主にこちらの方の保全修復工事を予定しております。1枚めくっていただきますと、設計整備の基本的な考え方という資料がございまして、今回の保全修復に当たっては飯豊連峰保全計画書の保全の基本的な考え方ということで、現地の特性を把握して必要最低限の整備を行うということと、

現地資材の利用、あるいは現地材料以外を利用する場合は、自然環境への影響が少ないものを用いる。また裸地部については植生で覆うことを目指す。登山道をわかりやすくし、人為による影響を抑制する。地域の山岳団体、自然保護団体、行政、登山者の連携を図る。このことを基本的な考えとして設計を実施しております。次のページなのですが、飯豊連峰保全計画書における整備水準及び重点整備箇所の説明書きになっております。今回の玄山道分岐については、整備水準 i-a となっております。最も保全修復の必要があるという場所に選定されております。重点整備箇所の場所については次のページに記載されております。保全修復方針と言うことで、今回の工事の保全修復の方針と手法を記載させていただいております。方針としては一つ目、分散排水。これは駒形山からの流水がかなり集まってきてガリー侵食が進んでおりますので、まずはその登山道に流入する流水を上部の方で分散排水するというのを考えております。次に流速の低減、流向のコントロールということで、現地の石材を利用した土留めや水制工を実施する予定です。次に歩行路の固定で、こちらについては緑化ネットを使った植生回復を図ることで、緑化ネット部以外のところを歩行路ということで、固定をできたらなということでありまして。あとは、昨年現地の調査に入った時は、地盤が少し固いというところがあったので、こういった種子を用いて緑化を図るかということについては、昨年度までの実証試験箇所の現場の状況を見ながら、どういう種子がいいのか引き続き検討していきながら、種子の採取を検討していきたいと思っております。4番の保全修復工については、具体的にそれに伴う工事方について書かせていただいております。最後に図面をつけさせていただいているのですが、こちらの図面については去年現場を確認して、流路と歩行路を現地で確認して、こういった場所に土留めですとか水制区、緑化ネットを貼った方がいいんじゃないかという検討をしているところですが、こちらについてはまた今年現場の方を見に行き、現地の状況を見て最終的な設置場所を確定していきたいなと思っております。図面の前にイメージ図ということで、土留めのイメージ図を載せているのですが分かりづらいと思っておりますので、前のスライドで説明させていただきたいと思っております。

(以下スライド説明)

これが丁度今回の工事の中腹くらい場所になるのですが、こういった場所について、土留めを設置した後のイメージがこういったイメージで考えております。水衝部については、これ以上侵食が起こらないように高めに積んで、流水のコントロールということで、アーチとプールの部分を現地の部分に、必要な箇所に適宜置いておくという工法を考えております。これは現地の石材がどれくらいあるかということにもよるのですが、できるだけ違和感がないように仕上げていきたいなというように考えております。これがもう少し下流の方ですね、二工区なのですが、少し傾斜がきつくなってきて、かなりガリー侵食が深く進行している場所になります。こちらについても同じように土留めで流水のコントロールで流速を落としていくということを考えております。こういった形でアーチ状に石組みを作っていきたいと考えております。こちらについては、力石ですとか根入れの部分

しっかり確保しながらやっているとまた侵食が発生する恐れがありますので、今回なかなか図面では表しにくいところがあるので、こういったイメージの図だとか、あるいは現地に行って工事を発注するということになるのですが、いわゆる画一的な公共工事ではなくて、飯豊らしい、違和感のないような形でこちらの工事の方を進めて行きたいなと思っております。

あと、実施の時期についてなのですが、工事の発注と言うことで考えておりますので、今のところ9月～10月、これは種の採取の時期にもよると思うのですが、9月～10月頃で考えております。なかなかその種の採取というのが、去年の合同保全作業でも実感したのですが、やはり多くの方で取らないとなかなか種が集まらないというところもあると思いますので、今回なんとかスケジュールを上手く調整して合同保全作業とうまくタイミングが合うようなスケジュールで調整していきたいなと思っております。また、スケジュールについては事務局等を通して皆様の方に呼びかけだとか、伝えさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

事務局 佐藤：

では事前に提出いただいた計画につきましては以上になります。

代表 平田氏：

只今、それぞれに団体個人の方から色々と報告いただきましたが、ご質問やご意見ありましたら、お願いします、

小国山岳会 井上氏：

喜多方市山都総合支所の計画で教えていただきたいのですが、予定箇所には小白布～切合小屋とありますが、私の記憶だと確か集落のところから左手に行くのが大白布、右手に行くのが小白布だったと記憶しております。小白布の方は大規模林道の工事で交通が困難だろうと言うことと、小白布からあがって横峰に付き上がるころの作業道、というのは登山道としては過去に問題があったと記憶しております。そもそも大規模で工事をしておりますので、その小白布道は現在使えない、使わない方がいいよと皆さんにお話をしていると記憶しているのですが、ここに小白布道から切合小屋とありましたので、違和感を感じましたのでご説明いただければと思います。

山都総合支所 大関氏：

今お話あったとおりでございます。今回このコースを選んだ理由は極力早く切合まで上がって、作業時間を確保したいという趣旨がございまして、本来今お話いただいたとおり、通行止めということで、あそこを通れるのは川入地区のいわゆる生活地区、地区内で生活をされている方がいらっしゃいますので、生活のみ入る場合入れますよということで、一



般の方は通れませんということで、アナウンスしております。しかし今回山小屋周辺相当のゴミがあるだろうと予想をたてておりますので、その作業時間を少しでも確保したいという観点から、普段案内しない小白布道を利用させていただくということを考えております。下山については通常のコースを考えております。

小国山岳会 井上氏：

引き続きなんですけれども、今の意味で分かりました。そうすると現時点でも一般登山者には通行できませんよと、というような周知の仕方でもよろしいということですね。あとそれから、昨年末に降雪前後に御沢から上るコースの杉の間伐材を使っていると記憶しておりますが、工事を予定されていると耳にしておりましたので、そのあたりどうなったのか、あわせて教えていただければありがたいと思います。

山都総合支所 大関氏：

階段工を昨年の事業で実施しております。大きく分けまして、御沢からすぐのところ、直登する部分、段数はちょっと忘れましたが、その部分とそこから若干進んでから登山道が荒れているところを若干迂回する形で階段工を設置しております。それで、その第2工区的な部分なのですが、非常に荒れているところを迂回する形で階段工を設置したところ、上部登り勾配の部分で若干課題が残りました。その辺については現地確認をして、将来的には、現在の登山道と連絡するような形で階段工の方は進めさせていただければと思っておりますが、その着工時期については決定しておりません。

代表 平田氏：

他にございませんか？

喜多方市山都総合支所 大関氏：

それから、清掃作業について付けくわえさせていただきます。今回7月4日～5日に清掃と言うことで、ゴミを切合小屋周辺にいったん集める予定でおります。当面あの、モッコというのですが、ヘリにつり上げるときのネットですね、ネットに仮置して、工事の業者にボランティア的な形を取っていただいて、ヘリの荷下ろしの時点でネットごとゴミを降ろすということを予定しております。ですので、ヘリで降ろす時期がですね、7月4日、5日の日に降ろせれば一番綺麗な形で降ろせるのですが、なかなか工事とのかねあいもございまして、若干の期間小屋の脇に置いておくような形になります。その間については、ビニールシートを被せて、ゴミが飛散しないような対応を取りながら、若干の時間、ゴミが切合小屋のところにあるという状況が生じますので、その点についてはご了解いただければと思います。

代表 平田氏：

他にございませんか。ございませんでしたら、議題の2はこれで終わらせていただきます。

### ■議題3

代表平田氏：

それでは、合同保全作業につきまして、事務局からお願いします。

事務局 佐藤：

事務局の方で決めている話はまだございませんけれども、今回皆さんから出していただいた実施計画につきまして、合同保全作業になりそうなものはどれかなと見た場合は、やはり計画1番上にあった、小国山岳会さんの天狗ノ庭の作業ですとか、梶川尾根上部での作業、また裏ページのですね、東北地方環境事務所の作業があるのかなと思われました。いかがでしょうか。

小国山岳会 井上氏：

質問なのですが、玄山道分岐のおおよそのイメージ図の説明をいただいたのですが、この中で業者の方をお願いする部分、それから一般の登山者ができる部分、そういったものの区分といたしますか、それとも全部私たちが関係することができるのか、そこら辺の仕事の分担のところ、プロでないとできないところ、私たちのような素人でもできるようなある程度分類ができれば、教えていただければ幸いです。

東北地方環境事務所 内木：

では私の方から。今工事の業者にやってもらうとそれ以外のご協力いただきたい部分のところについてなのですが、今回現地の石を使った流水コントロールの土留めを作ることは、業者、工事発注で工事の業者の人に実施してもらおうかなと考えておりました、それに伴う材料の運搬だとか資材、石を動かす機材だとかそういったものも工事の中で運搬しようと考えております。あとは先ほど少しお話したのですが、種の採取についてはですね、なかなか工事の業者だけでは難しいところがあるのかなと思っておまして、そちらについてはできれば、玄山道分岐附近では取れる種はかなり量が限られていると思いますので、天狗ノ庭で昨年度からの引き続きで種を採取して緑化ネットを張るということになれば、そういった時に一緒に種を採って玄山道分岐の方にも多少なりとも種を播いて行けたらなという風に思っております。あとちょっと微妙なところなのですが、緑化ネットを張るというところについてはですね、実は検討中でして、工事の中でもできるかなというように思っているのですが、飯豊の場合はかなり今まで緑化ネットを今まで、梶川だとか御西だとか張ってきた実績があつて、みなさんどういうように張ればいいのか、また

ネットをピンと張らないである程度たるみを持たせて張るのがいいというところまでよくご存知であるので、そこについては今後ここまでご協力いただけないかということを出発点として山岳関係者の皆様をお願いを改めてさせていただけたらなというように思っております。

小国山岳会 井上氏：

ありがとうございます。そこで、まず二つあるのですが、恐らく天狗ノ庭うんぬんということよりも、草月平付近の方が似通った植生がありうるのかなと感じ致しますし、結局緑化ネットを貼る部分によって植生が違いますので、その辺を、現時点では天狗ノ庭うんぬんということよりも、天狗ノ庭の方は天狗ノ庭で使う、ただ時期がずれれば大丈夫だろうと思うのですが、どちらにしてもそれぞれの場所によって結実する時期がかなり違うようですので、その時期にあった場所というのを選定していただければありがたいのかなということと、それから先ほど出てきたコケの利用ということが出て参りました。確かに現実問題として天狗ノ庭でもかなりスギゴケっぽいコケというのでしょうか、そういうものがかなり見られましたし、また先週の日曜日に梶川尾根を下ってきましたが、梶川尾根の一番最初にネットを張ったところの末端部だけが露出をしておりますが、そこにはやはりスギゴケ類のようなものが既に雪の下から出ておりました。そういう風なことになりますと、今までコケ類には積極的に扱ったことがないので、どのようなことになるのか、孢子ということになるのでしょうかけれども、もし現時点でお分りの部分があれば、ご紹介いただければ幸いです。よろしく申し上げます。

代表 平田氏：

それでは専門的な詳しい方、申し上げます。

株式会社ニュージェック 川端氏：

コケについてなんですけれども、去年朝日で播いてみまして、その時色々な種類のコケが出ていたのですが、頭のところを、ハサミでカットしてやって、カットしたものをそのまま地面に播いてその上にネットを張ったような形でそれで恐らく出るんじゃないかなと、それは植物の専門のものが実際にこうやれば出ると言っていたので、今年どうなっているのか朝日で見るのが楽しみなのですけれども、当面それで今年確認してみに行けそうであればかなりたくさん生えておりますので、ハサミを持っていて頭をカットするような形でたくさん集めて適宜まき散らして行くだけでつくんじゃないかと思っております。

代表 平田氏：

他にございませんか？ ございませんでしたら、佐藤一交さんからお話ありましたとおり、小国山岳会のそれと、玄山道作業と言うことで、よろしいでしょうか？ では、そのようにさせていただきます。それでは議題の4その他でございますが、まず事務局がございませ

たらお願いします。

#### ■議題4

事務局 佐藤：

議題4では特にきちんとしたものはないのですが、作業の報告としまして今年度も飯豊連峰で5箇所の登山者カウンターを6月9日10日で設置させていただいております。また今回この合同保全作業で使う資材につきまして、置賜森林管理署さんから多くの資材をまた今年もご提供いただきありがとうございます。また更に、胎内市さんからもですね、へりの荷上げ等に便乗させていただき、また梅花皮小屋、門内小屋の方にも資材を仮置させていただくというようなご協力いただきまして、本当に嬉しく思います。

連絡事項として、裏磐梯の事務所の方で、若干職員の配置換えがありますので、ご報告をさせていただきます。

裏磐梯自然保護官事務所 福原：

裏磐梯自然保護官事務所の福原です。ご連絡ということで、7月1日づけでもう一人山本という職員がいるのですが、九州の九重の自然保護官事務所に異動ということになりまして、今まで裏磐梯には自然保護官2名長年いたのですが、人為削減ということで、後任のものが来ないこととなりますので、私一人だけになります。体に鞭打って頑張りますので、よろしくお願いします。以上です。

代表 平田氏：

それではその他のことですが、今日お集まりの皆様でお願いします。

小国山岳会 井上氏：

実は昨年環境省さんの仕事の中に、5機の登山者カウンターを設置し、登山者の利用動向などを分析報告したというのがあるのですが、これと合わせまして、昨年私たちの方でも天狗平に登山者カードを置いてありますので、そのカードに基づきまして登山者が具体的にどのように動いているのか、というようなことを分析していました。かなり面白い結果を得ておりますが、その結果はつきりしたことが、丸森尾根の登山者がほとんどといっていいほど、皆無に近く書いてないということが判明いたしましたので、今年新たに作成しまして、丸森尾根登山口に登山者カード記載所を作らせていただきました。これでかなり分析が明確になるんじゃないかなと思います。せつかくですので、今日いらしてないのですが、大日杉、それから川入口（喜多方）の登山者カードも、個人情報であることは間違いないのですが、私たちの方も登山者カードの一番下隅に「このカードにつきましては、遭難時の対応の他、統計事務処理などにも使わせていただきます」というようなことをあらかじめ現在は書いております。できれば、それに類するようなことを、登山者カ

ードそのものに記載でもよろしいですし、記載所そのものを書いて貼り出しておくだけでも有効だろうと思います。まあ、そのような形を取っていただいて、そのカードをどのように集計するのがいいのか、ということはこれから更に検討が必要かと思いますが、それらを合わせることによって、せつかくのカウンターで出てきた数字が、さらにいっそう登山者の動きというのを明確にできて今後の管理に役立つのではないかと思いますので、せつかくの場でございますので、そのようなことをお願いできればありがたいなと思いますし、また同時に梅花皮小屋を始め、いくつかの山小屋においては、協力金をいただいた方についてはお礼の紙を差し上げている訳ですが、その紙には必ずどこから登りました、どこに下ります、というようなことを書いてもらうようにしております。梅花皮小屋以外にもそのような小屋がありますので、そのような小屋の管理するところにもその写しをご提供いただいてあわせてどのように動いているか、補助資料ということにすればかなり詳しくできるのではないかと、思います。もしかしたら環境省の方がこれで最後ではないかという話もチラッと聞いたので、それはまだ分からないそうですが、できれば今年にある程度のことを全部やれば非常に面白いものが、これからの資料に役立つのではないかと、いうことで、ご協力といたしますか、一緒にやりませんかと提案でございます。以上です。

代表 平田氏：

他に連絡などはありませんか。

福島県自然保護課 大竹氏：

福島県自然保護課の大竹と申しますけれども、福島県内の状況としましてご説明させていただきますと思います。現在ですね、会津の市町村や団体さんとか、飯豊連峰の世界遺産の候補地選定ということで、世界遺産の候補地として起こしたいというお話がでております。国の様子とか当然のことならば飯豊連峰ということで、福島県の他に新潟県さんとか山形県さんとかの管区もございますので、そういう状況もございますけれども、一応そういうような動きがあるということだけをご報告させていただきます。以上です。

代表 平田氏：

ありがとうございました。他に連絡とかご報告、なにかありましたらお願いします。

下越森林管理署 大濱氏：

下越森林管理署です。登山者の安全に対してですね、色々皆さんにやっただいている訳ですが、実は昨年の下越森林管理署の方で回答なされたと思うのですが、奥入瀬溪流の事故がありまして、管理者不在の登山道につきまして管理を明確に下さいというような話が入っております。それで国立公園では環境省さんなり、県が入っている訳ですが、今年の4月ですか、実は上陸の方で、環境省の国立公園課と林野庁の業務課とで会合をし

ておりまして、その結果計画段階の施設については、順次整備してくれと、重要な箇所については使用承認を申請すること。というような趣旨でございましたが、その後、環境省さんの方ではどのようなことをなされているのか聞きたいのですが。特にですね、私ども管内であります、飯豊山から北股岳ですが、その辺についての計画についてはどのようなになっているのでしょうか。

羽黒自然保護官事務所 佐藤：

今ご質問いただいた件につきましてですが、国立公園の方としまして、新しく施設を設置して工事するという場合ですね、計画に乗っっている訳ですが、その場合当然土地をお借りしながらする必要があるなと思っておりますが、現在は新しくものを設置するというような概念のものはまだございまして、登山道周辺、自然環境含めて維持するために、維持管理行為を行っているものだと思っております。計画を進めているところでございます。以上です。

代表 平井氏：

他にございませんか？ではこれで終わらせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

(拍手)

事務局 佐藤：

代表、議事進行ありがとうございました。それではこれを持ちまして飯豊連峰保全連絡会議第三回会合を閉会させていただきます。ありがとうございました。

(拍手)